

富士フィルムエンジニアリング株式会社

健康ビジョンを具体化 仕掛けて突破！ 全員巻き込む健康経営

富士フィルムのグループ会社である富士フィルムエンジニアリングは、富士フィルムグループ各社の新規設備投資の最適化やコストダウンを行うほか、より生産を効率化するための課題を解決する役割、既存生産設備の保全を担っている。健康保険組合作成の「健康通信簿」などを契機として、社内の健康課題を強く認識し、2018年から「健康経営」への取り組みを本格的に開始、19年からは「健康経営」と「働き方改革」を車の両輪として取り組んでいる。19年から2年連続で「健康経営優良法人（中小規模法人部門）」に認定された同社の健康経営の取り組みについて、富士フィルムエンジニアリング経営企画・総務部マネージャーの小川能寛さん、富士フィルムグループ健康保険組合常務理事の篠原正泰さんに話を聞いた。（以下、敬称略）



左から、富士フィルムグループ健保組合常務理事・篠原正泰さん、富士フィルムエンジニアリング経営企画・総務部マネージャー・小川能寛さん